

様式1 令和6年度 山梨県立都留高等学校(定時制)評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	誠実な心と健康な身体を持ち、学に励み克己に努める、心身ともにたくましく、しなやかな生徒を育成する。
-----------	---

山梨県立都留学校校長 三枝 正人

本年度の重点目標	1 知徳体の調和のとれた人間の育成に努める。
	2 道徳意識・規範意識の向上に努め、豊かな心を育む。
	3 言語活動の充実を図り、コミュニケーション能力の育成に努める。
	4 体力の向上と健康・安全の保持増進に努める。

達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自己評価						
番号	評価項目	本年度の重点目標 具体的方策	方策の評価指標	年度末評価(2月13日現在)		
				自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策
1	基本的な生活習慣の確立と道徳意識・規範意識の育成	学業と就労の両立を支援し、欠席、遅刻、早退などをしないように指導する。	統計一覧表及び学校改善点検シートの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み以降、欠席が増加する傾向がある。彼らの昼間の生活については保護者と相談しながら、指導する必要がある。 ・生徒数が12名と少なく、指導が行き届く。授業でも個別指導が可能で、いろいろな情報が得られる。職員間の情報共有も円滑に行えた。 ・多くの生徒が中学時代に学校行事を経験していないので、授業以外で学ぶことの多い行事の充実に取り組んだ。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度は行事の質をより一層向上させ、外部の方々との触れ合いを大切にしていきたい。特にキャリア事業を充実させ、将来につながる行事を計画していきたい。
		全校集会・全校行事での挨拶運動を徹底し、日常生活でも行えるようにする。	生徒評価シート及び改善点検シートの活用			
		各種行事や講演会等において、豊かな心の育成を意識した内容を含めて計画・実施する。	生徒評価シート及び改善点検シートの活用			
2	言語活動の充実とコミュニケーション能力の育成	授業改善に積極的に取り組み、「わかる授業」を実践し、確かな学力を育成する。	授業アンケートの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善のために11～12月に管理職による「授業参観」を実施した。また、アンケートから、「授業が分かりやすい」という項目の達成率が上昇した。 ・漢字検定、文章検定、英語検定に積極的に取り組んだ。 ・「総合的な探究」での発表は個性あふれるものであった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度も少人数の授業形態で、中にはマンツーマンでの授業もあるが、授業改善にはひき続き取り組んでいく必要がある。 ・検定はこれからも有効に活用していきたい。
		言語活動の充実に取り組むとともに、文章検定や漢字検定、英語検定などの資格取得を奨励し、合格者増をめざす。	受験状況及び合格者数			
		LHRや特別活動を通じて、コミュニケーション能力の育成と豊かな人間関係づくりを図る。	生徒評価シート及び改善点検シートの活用			
3	健康・安全教育を推進するとともに、スポーツに親しむ習慣・意欲を養い、体力の向上を図る	薬物、感染症、喫煙、防犯防災、食育、交通安全等、重要課題についての講話・講習会を充実させ、健康・安全について考えさせる。	生徒評価シート及び改善点検シートの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・大月消防署と連携し、救急救命の講演会を実施し、健康・安全に対する意識の向上を図った。 ・総体には積極的に参加した。陸上で1名全国大会に出場した。 ・体育の授業は少人数であったが協力しあいながら競技に取り組んだ。 ・感染症対策など保健衛生の指導に力を入れ、毎日の検温や手指消毒を徹底させた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・保健体育の授業や学校行事を通して、健康の大切さや、適度な運動の精神面への好影響などを認識させていく。 ・薬物や防犯、災害に関する講演会の意義を再検討し、将来への備えとなるようにしたい。 ・非常勤養護講師の力が大きい。週10時間が上限であるが、県に時間数増を求めている。
		定通総体の各種目への積極的な参加を促し、学校全体で運動やスポーツに親しむ雰囲気醸成する。	生徒評価シート及び改善点検シートの活用			
		健康・体力づくり一校一実践運動により、体育活動や健康教育を充実させ、健康と体力の向上を図る。	新体力テスト及び健康意識調査の活用			
4	キャリア教育・進路指導の充実	進学・就職希望者に対する進路指導の充実を図り、卒業時の進路決定率100%を目指す。	相談・ガイダンス件数及び進路決定率	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数ならではのきめ細かな進路指導ができた。 ・進路講演会は、自らの進路の意識づけの機会となっている。 ・1、2年次の早い段階からの組織的な進路指導が大切である。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度も早い段階から進路を意識させるようにして、全校体制で取り組んでいく。
		ハローワークや外部機関との連携を深め、計画的な進路指導を行う。	生徒評価シート及び改善点検シートの活用			
		「働き方改革」に基づき、バランスのとれた働き方について考え、働くことの意義を再認識させる。	生徒評価シート及び改善点検シートの活用			

学校関係者評価	
実施日(令和7年3月7日)	
評価	意見・要望等
4	<ul style="list-style-type: none"> ・定時制の先生方の努力がよくわかります。 ・様々な生活環境で中学校時代を過ごしたうえで経験する定時制高校での生活が、彼らにとっては新鮮でよいものになっていることが感じられた。少人数ではあるが多くの経験を通して、有意義な高校生活が送れるように指導をお願いしたい。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・定時制は、様々な状況を抱えている中で学んでいる生徒が多いが、少人数の中で丁寧な指導がなされていることが生徒たちの言語活動・コミュニケーション能力の育成につながっていると思う。 ・漢検や英検などの取り組みは大変有効であると思います。長く続けてほしい。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・同窓会として支援できることがあれば、と思います。 ・様々な経験が未熟な生徒が多いので、少人数の利点を生かして、さらにきめ細やかな指導をお願いしたい。 ・非常勤養護講師の配置は大変有意義なことだと思うので、ぜひ時間が増えるような働きかけをお願いしたい。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと何かの機会に定時制の活動の様子を中学生に知ってもらう機会ができれば良いと思います。学校運営協議会でお手伝いができればと思います。 ・現状の定時制に通学する生徒があまり就労できていないと聞くと、将来のことをしっかりと考え、豊かな人生が送れるように指導をしていただきたい。

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。

(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。